

本町1・2・3町内 町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成28年2月28日（日） 午後1時30分～3時15分

2. 対象地区・団体

本町1・2・3町内

3. 代表者名

渡部信一 1町内自治区長、渡部邦男 2町内自治区長、渡部哲夫 3町内自治区長
参加者計43人

4. 開催会場

遍照寺会館

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤要一郎、建設水道課長 成田信幸、企画情報課長 大竹 享、企画情報課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 佐藤泰久、企画情報課主査 山口則夫

6. 代表自治区長あいさつ 渡部邦男 2町内自治区長（要旨）

本日は町政懇談会ということで大勢の皆さんにお集まりいただきありがとうございます。本町地区で現在進められている町事業は特にありませんが、今日は、伊藤町長はじめ、副町長、担当課長の皆さんがお見えですので、普段皆さんがこういった点を町にお聞きしたいといったようなことがありましたら遠慮なく聞いていただきたいと思います。そして有意義な懇談会となるようによろしくお願いします。

7. 町長あいさつ及び町政方針説明 町長（要旨）

日曜日でお忙しい中、大勢の皆さんにお集まりいただきありがとうございます。本町地区においては、道路の問題、野沢中央通りと南裏線の連結などの課題が出されていますので、後ほど担当課長よりお答えしたいと思います。

私からは町政全般にわたって今、町が取り組んでいる大きな課題などについて話をさせていただきますと思います。資料として皆さんには町総合計画・実施計画の平成28年度の取り組みイメージをお配りしました。

これから3月議会定例会で審議される町の平成28年度一般会計予算は、63億9,700万円、今年度よりも0.8%、5,100万円の増額となりました。平成28年度は、認定こども園を西会津小学校の隣に整備し、平成29年度に開園することになります。敷地は約1ヘクタールで、建物の面積は1,780㎡、木造で、特徴としては雪を屋根から落とさないで、そのままでも建物はつぶれないという構造にしております。材料となる木材については昨年、町民の皆さんから寄付いただきました。できるだけ寄付いただいた木材を活用していきたいと思っています。

国勢調査の結果、調査開始以来、初めて日本の人口が減少に転じています。人口が増えているのは東京などごく一部で、ほとんどの自治体で減少しています。西会津町の人口は、国勢調査の結果、残念ながら7,000人を割っています。

今年度、人口ビジョンをそれぞれの市町村が策定しています。長期にわたる人口を推計し、いかに減少を食い止めるか。それぞれ市町村で特徴ある取り組みを行ってくださいというのが国の地方創生の方針であります。

これまでも人口減少対策として様々な施策を展開してきたわけですが、残念ながら人口は減っています。

西会津町では毎年 100 人以上の方が亡くなっており、一方で出生数は 50 人程度であるため、それだけで人口は減ります。

2040 年の西会津町の人口は、何にも対策を講じなければ 3,400 人ほどになってしまうという厳しい結果が計算上出てきています。そのために、人口減少にどう歯止めをかけるか、若い人に来てもらう、町に残ってもらえる定住条件をしっかりと確保していかなければならないし、安心して子どもを産み育てられる環境づくりも行っていかなければなりません。産業の創出も必要です。そのような対策によって 2040 年の町の人口を 3,800 人ぐらいに留めなければならないということで、これから一生懸命に取り組んでいきたいという基本的な考え方で、昨年、21 名の若者を中心に、地方創生のまち・ひと・しごと総合戦略を策定してもらいました。町にある農業をはじめ、文化、歴史などの資源を活かして仕事を生み出していかなければならないというのが一つ目で、今、企業を誘致するのは大変難しい時代となったため、自ら仕事を創り出す、業を起こすということをやっけていかなければ働く場の確保はできないというのが町の考え方です。

二つ目は、子どもを産み育てられる環境をつくることで、現在、町では 3 子目が誕生した場合、50 万円の祝金を支給していますが、これを見直し、1 子目誕生から 20 万円を支給するよう思い切って制度を変えるため 3 月議会に諮ることにしています。

西会津町で子どもを産んで育てたいということになれば、おのずと定住につながっていくものと考えられます。そうした中で、町では認定こども園を整備し対応するとともに、統合した小学校と中学校での小中一貫教育に向けて委員会を立ち上げました。西会津町で育つと学力が向上し、あるいは人材が育成されるということは大きな財産ですので、しっかり対応していきたいと思えます。

三つ目は、交流人口の拡大であります。交流自治体等から町のイベントなどに多くの人々が来町し、交流が盛んになってきています。今後、いかに定住につながられるかが重要であり、西会津町に住んでみたいという人から相談を受けたときに、空きがありませんということでは定住に結びつきません。町に来てもらって、住んでもらうためにも住宅確保に切り替えていくことが定住を図るための課題であると考えています。

現在町には約 700 もの空き家があります。いま空き家対策が必要になっており、これをうまく利活用すれば、住んでもらうこともできるわけであり、今後、空き家対策についてもしっかり取り組んでいきたいと思っています。

この三つの柱で、地方創生、定住に取り組んでいこうということになっております。現在、具体的な事業の検討を行っていますが、この中で 3 件、新しい事業について申し上げたいと思えます。

一つは、町の 85% は森林であり、この森林をうまく利活用しない方法はないということで、現在町で取り組んでいる菌床栽培の原料オガコは町外のものであることから、このオガコを町で生産できるのではないかと考え、木質バイオマス計画を来年度策定し、森林の利活用と同時に雇用の拡大などにつなげていきたいと考えております。

道の駅内に整備している販売力強化施設を 8 月上旬にオープンしたいと考えており、拠点となる農産物専門の販売場所ができるため、さらに地域経済の活性化を図っていききたいと思えます。

交流人口の拡大では、プロ野球の県民球団福島ホープスにさゆり公園野球場を使ってもらったようにした結果、大きな反響があり、慶応義塾大学の野球部が去年からキャンプ、練習に町に来ています。町への大きな経済効果が期待されるため、こういったことも新しい取り組みの一つとして交流人口の拡大につなげていきたいと思えます。お金をかけなくても、考え方を切り替えれば町づくりができると思っています。このような取り組みを地方創生の中で

ぜひ進めていきたいと思えます。

最後になりますが、西会津町は、以前から元気で長寿の町であるというイメージがまだまだあり、町外の方もそのように見えています。このことは継続していかなければならないと思っています。今、百歳の方が町に13名いらっしゃいます。一番の高齢者は106歳であります。これからも健康が一番をキャッチフレーズに取り組んでいきますのでよろしくお願ひし、あいつに代えさせていただきます。

8. 野沢町内の雪処理対策の進め方について 企画情報課長（要旨）

近年の人口減少や高齢化、管理されない空き家増加などから、雪処理対策が必要になっている状況を踏まえ、新たな雪処理体制を構築するため、今年度、アンケート調査を実施したこと、またその結果の傾向、さらに町では平成28年度中に新たな総合的雪対策計画を策定することについて資料1に基づき説明。

9. 地域課題「町道の拡幅や修繕について」 建設水道課長（要旨）

町道本町南5号線の拡幅についてであります。本路線は、野沢中央線と野沢南裏線を旧ミドリ薬局脇で結んでいる町道です。平成25年2月に、改良による幅員の拡幅と舗装の要望が出されたことから、同年6月に現地調査を実施しました。その結果、除雪を考慮して幅員を4m程度に拡幅するためには、入口の旧薬局店舗部分だけでなく、店舗後ろの住宅の玄関まで移転が必要であるため、拡幅できずに現在に至っているところであります。県道喜多方西会津線の本町十字路から、通称大久保街道（原町南4号線）までの750m区間には、野沢中央線と野沢南裏線を車両で横断できる路線がないことから、町としては、この区間に1本は必要であると認識しております。最も効果的に通行できる箇所の整備について、町全体の整備計画の中で十分に検討してまいります。

次に、町道鳥居坂線の道路修繕についてであります。現地調査しましたところ、鈴木和博氏宅前の町道の舗装面が下がっている状態でありました。天候の状況を見て舗装面の補修を実施したいと考えています。

3点目の野沢中央線の遍照寺～信号機までの段差の修繕についてであります。現地調査を実施したところ、一部、1センチ程度のくぼみはありましたが、大きな段差はありませんでした。下水道の関係で舗装を切った箇所など車両が通行する際に音がするとのことですので、天候状況を見て舗装のすり付けにより解消したいと考えています。

10. 意見交換等

〔質問等〕

野沢中央線と野沢南裏線を結ぶ道路整備については、本町地区では、ずっと町に要望してきた事項です。ミドリ薬局さんのところは今の説明では無理ということですが、我々が一番いいと考えるのは、新田衣料店さんから若林さんのところに抜ける道路を広げてもらうのが一番いいのではというのが本町地区住民の願望であり、地域の皆さんがいつも言っていることです。しかし道路の左側、昔の橋谷田お茶屋さんの空き家、それから右側、佐藤さんが所有する家だったそうですが空き家になっています。町に対する要望ですが、橋谷田さんの土地を町に買ってもらって、道路を整備し、残地はゲートボール場あるいは広場などにしてもらえれば、本町地区としてはありがたい。それが無理であれば、佐藤さんのところを町で全部買うか、もしくは本人に寄付してもらおうといったように、どちらか一方の土地を町が交渉して買うなりして道路を広げるというのが一番いいのではないかと。要望したいと思えますので検討をお願いします。

[町]

今、話のあった橋谷田さんの空き家のところの土地ですが、購入について所有者の承諾を得ることができれば、実現可能ではないかと思いますが、あくまでも道路用地として取得することになるので、道路用地以上の面積を目的外に買うというのはなかなか難しく、道路用地部分を町として買い、余った土地をどうすればいいかこのところは町内部で検討させていただきたいと思います。

町として、本来、検討しなければならないのは、大槻橋から上ってきたT字路のところ、ここを野沢南裏線まで抜くことができないかというのがもう一つです。承諾が得られれば、アクセス面ではよいのではないかと考えているところであります。今後、町道整備計画の策定に取り組んでいくこととしておりますので、この中で検討していきたいと思います。要望のあった内容については参考にさせていただきたいと思います。

[質問等]

毎年毎年、冬になると流雪溝が雪で詰まり、道路に水があふれており改善されません。町のイメージ低下にもつながるため改善対応をお願いしたい。

1 町内地区の道路修繕について、平成26年7月末ごろのことですが、地区内の下水道管を敷設した8箇所の道路修繕工事の際、4箇所で終わりですといわれました。役場に確認したところ予算の関係で平成27年度に残りの4箇所を実施するといわれましたが、いつ実施してもらえるのか。家が揺れるところの道路の点検についても併せてお願いしたい。

流雪溝の投入口改善について、ある高齢者宅付近の投入口を観音開きタイプにしてもらいたいと要望したが実施してもらえなかったのをお願いしたい。

野沢変電所近くの消火栓のかさ上げ、セキヤ製作所わきの消火栓の移設について検討をお願いしたい。

[町]

下水道関係の道路修繕について、道路を横断しているのは全部で8箇所であり、昨年度4箇所を修繕しました。今年度残りを予定していましたが、下水道敷設箇所で舗装を縦に切って舗装面が深く沈んでいるところがあり、危険性が高いということで、そこを優先して直しました。危険性からこのような判断をしましたので、道路横断部分4箇所については来年度ということでご理解をお願いしたいと思います。

流雪溝については、克雪活動実行委員会の皆さんが現地を歩き、その点検結果をもとに、町でできるものについてはすぐに直してしまおうということで壊れているものは対応しました。投入口については、すぐに観音開きタイプに変えることができません。構造を確認し検討させていただきたいと思います。

消火栓2箇所については早速調査を行います。できるものは今年対応したいと思います。なお消火栓については担当課より後日、回答させていただくことでお願いしたいと思います。

[質問等]

流雪溝についてですが、高齢化に伴い除排雪がままならなくなってきています。少しずつでもいいので大黒屋さんのところから諏訪神社まで流雪溝の整備をお願いしたい。

[町]

かつて野沢中央線では消雪パイプを使っていました。現在の消雪パイプは技術開発により降雪の状況によって自動で出たり止まったりするようです。高齢化という状況もありますので、もう一度、雪を融かす方法に転換する必要があるのではないかとということで消雪について検討していきたいと思っております。今後、そのための水量調査を行って、水の量が十分

であれば部分的にでも対応するように検討していきたいと思えます。

流雪溝については、原町地区で開催した町政懇談会でもさまざまな意見が出ました。流雪溝の勾配がよくない状況から本町地区から雪を流したとき、野沢郵便局のあたりでだぶついて、雪が詰まってしまい流れないというような原因になっています。このため流雪溝の高低差などに関する調査を行います。調査を実施し、勾配不良箇所を下げるといったようなことをもう一度考えてみたいと思っています。

[質問等]

鳥居坂のところですが、野沢中央線から鳥居坂に下るようになりますが、住宅地図だと鳥居坂の道路がほぼ直線になっていますが、現状ではかなり曲がっています。実際の道路は恐らくお寺の敷地内を通っている状態です。一度計測してもらって元の地形に戻してもらいたい。町道の正確な位置を調査してもらいたい。これに併せて用水路の変更をお願いしたい。今の用水路は八島さんの横から落ちて長い距離を流れており、高低差があまりなく、泥が詰まりやすく堰上げで苦労しています。このため鳥居坂の道路が真っ直ぐにいける場合であれば、そこに用水路をとっていただいて、耕作者が少なくなってきましたので管理をしやすいようにお願いしたい。

[町]

雪が消えた後、現地を確認します。

[質問等]

諏訪神社前、神社側の側溝についてですが、側溝に落ちた人がいるため蓋をかけてもらいたい。300メートルくらい。よろしくをお願いします。

[町]

分かりました。現地を確認します。

[質問等]

児童の通学路の白線について、1・2・3町内の子ども12名は、本町から大槻橋を通過して小学校に通学しています。安全確保のため、おじまやさん前から大槻橋までの間の白線引きをお願いしたい。

[町]

通学路の白線引きについては、昨年、小学校に近い森野から大槻橋までの白線引きを行いました。大槻橋の補修がありますので、工事が終わらないとできないと考えています。大槻橋工事があるため森野側を優先させていただいたということです。

[質問等]

大槻橋の工事に関してですが、来月に着工するという連絡を町からもりました。8月いっぱい工事ということですが、作業は土日曜はやらないのでしょうか。

[町]

大槻橋の補修は今年度と来年度の2カ年で行うものです。測量設計等が終わり、これからいよいよ工事が始まりますが、橋が狭いため、通行止めをしないと工事作業ができないということで、過半、区長さんを通じて片側交互通行で行いたいとお願いをしているところです。基本的には平日に工事を実施することになります。状況によってどうしても土日曜に実施し

なければならないというときは改めて連絡いたします。

[質問等]

大槻橋工事の関係で、大沼さん側のところの石積が崩れてしまっている状況ですので、この護岸も併せて補修してもらえればありがたい。

[町]

県道だったときに護岸のため石を積んだものであり、あのままではどんどん崩れてしまう可能性が高いため補修を考えています。

[質問等]

遍照寺会館前の駐車場ですが入口に水たまりができるため、現地を見てもらって舗装の補修をお願いしたい。

[町]

雪が消えてから対応したいと思います。

[質問等]

流雪溝は山口堰から水がきていますが、山口から野沢変電所まで杉林の下を流れてくるため、枝の混入などで流雪溝が詰まることが多い状況です。流雪溝は防災用の水路にもなっており生活に欠かせないものであることから、その区間へのネット設置など木や枝が入らないような対応をお願いできないか。

[町]

国道であるため道路管理者に協議してみます。

[質問等]

山口堰の方から流れてくる木の問題は、克雪委員会でもよく出る話で、山口集落入口などで除雪をした雪が直接水路に入らないように、詰まりを防ぐため枕木を敷いたものであり、その枕木が腐って堰に落ちて流れてきています。これを取り除くのに克雪委員会では大変苦労している状況です。

[町]

枕木を敷いてから年数が経ち、傷んでいる状況であることから、やり方を検討する必要があると思っています。まず現地を見たいと思います。

今日出された課題等については、特に生活に密着する課題については、しっかり対応していきたいと思います。ただ町がなかなかできないところは、やはり住民の皆さんの自助、そして共助、町の公助の役割分担でしっかりと進めていきたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。